

<オールインワン英文読解⑥> Lv.★

① 名詞 + to V

後置修飾7パターンの4つ目、名詞 + to V ~ について!

「...」などと訳す。

(例1) The desire [to learn English] is strong.
⑤ (v) (o) ④ ③

「英語を学びたいという願望が強い」

to Vの前に名詞があると、自動的に「Vする〇〇」になるのか、というところではない!

to VのVとわかる相手の名詞の間には、「3つの格」のどれかが必要!

<形容詞用法のto Vの3つの格> 英文法超基礎⑤参照

① () 関係 = 主格

I need a person [to talk with me]. 「私には、話してくれる人が必要だ」

→ "a person" と "to talk with me" の関係を見ると、

"a person" **が** 私と話す」となり、"a person" が "to talk ~" の () として働いている! (関係と言う)

② () 関係 = 目的格

I have a lot of books [to read]. 「私には、読むべき本が多くある」

→ ②で注目すべきは "to read" の () が () ということ!
この場合、その欠けている目的語が () であれば、形容詞用法。

"a lot of books" が "to read" の () として働いている!

③ () 関係 = 同格

He has the will [to succeed]. 「彼には成功するという意志がある」

→ the will 「意志」の内容が "to succeed" 「成功する」となっている。

「意志の中身 = 成功したい」と () の関係が成り立つ!

Q. 次の文の to V は形容詞用法か?

She went to the library to study for the exam.

→ "the library" と "to study..." の関係を見ていく! まず〇が欠けてないので②ではない。SVでも = でもないので、このto Vは副詞的用法! 「試験勉強するために、～」

2 名詞 + 形容詞 ~

(例2) This is < a topic [difficult to explain] >.
 S V C 形

「これは説明するのが難しい話題だ」

形容詞が () になるので、後ろから修飾している!

(例3) He is < a student [familiar with computers] >.
 S V C 形

「彼はコンピュータに詳しい学生だ」

be familiar with ~ 「~に詳しい」とか be full of ~ 「~でいっぱいだ」のようなイディオム型はこのような形をとることがある!

3 名詞 + 関係詞 ← 英文法超基礎 ⑩

(例3) < The man [who is standing over there] > is Tom.
 S ⑤ V ⑦ C ③

「向こうで立っている男性はトムだ」 ← The man ~ there が名詞のカタマリ

(例4) < The boy [I met at the party] > was Ken.
 S ⑤ (that) S V ⑦ C ③

「私がそのパーティーで会った少年はケンだった」

< 関係代名詞の省略に気付くコツ >

() & () = 「
 → 関係代名詞 (/ /) が省略されている!

This is < the city [which/that] I lived in last year >.
 「ここは、私が去年住んでいた街だ」

4 名詞 + that S'V' ~ は関係詞か同格か ← 英文法超基礎 ⑪

(例5) < The fact [that she passed exam] > surprised them.
 S ⑤ S' V' O' ⑦ ③

→ 名詞のあとに that S'V' ~ が続くとき、2つの可能性がある!

that のあとが () な文 → ()

〃 () な文 → ()

今回は完全な文なので訳は「彼女が試験に合格したという事実は彼らを驚かせた」となる

(同格の that は本来名詞のカタマリだが、後置修飾という形で考えた方がわかりやすい)